

東アジアの「茶」に関わる「ことわざ」

| | |
|----------|---|
| 著者 | 鄒 双双, 唐 哲俊, 陳 映竹, 陳 其松, 于 臣, 氷野 善寛, Nguyen Th? Ha Thanh, 朴 ?映, 宮嶋 純子, 大槻 暢子, 三宅 美穂, 熊野 弘子, 伊藤 瞳 |
| 雑誌名 | 周縁の文化交渉学シリーズ1 『東アジアの茶飲文化と茶業』 |
| ページ | 225-234 |
| 発行年 | 2011-03-31 |
| その他のタイトル | “ Proverb ” Related to “ Tea ” of East Asia |
| URL | http://hdl.handle.net/10112/4400 |

東アジアの「茶」に関わる「ことわざ」

編集：大槻 暢子

資料収集者兼翻訳者：鄒双双・唐哲俊・陳映竹・陳其松・于臣・氷野善寛

Nguyễn Thị Hà Thành・朴奘映・宮嶋純子・大槻暢子・三宅美穂

熊野弘子・伊藤瞳

“Proverb” Related to “Tea” of East Asia

OTSUKI Yoko

ZOU Shuangshuang, TANG Zhejun, CHEN Yintzu, CHEN Chisung, YU Chen,
HINO Yoshihiro, NGUYỄN Thị Hà Thành, PARK Unyong, MIYAJIMA Junko,
OTSUKI Yoko, MIYAKE Miho, KUMANO Hiroko, ITOH Hitomi

はじめに

ここに収録したのは、中国・台湾・ベトナム・韓国・沖縄・日本の「茶」に関わる「ことわざ」を中心とした表現である。ことわざ以外にも、故事や俗説なども含んでいる。

収集にあたっては、本学大学院文化交渉学専攻東アジア文化交渉学専修所属の院生を中心として、主に自身の出身国の「茶」に関わる表現について、その言葉と意味、出典、地域を表に書き込んでもらった。出典については、辞書類からの引用を示すものが多かったが、「俗語」として自身が知っている言葉をそのまま挙げていることもみられた。

ことわざ（諺）は『広辞苑』では、「古くから人々に言いならわされたことば。教訓・諷刺などの意を寓した短句や秀句。」とある¹⁾。また『日本語の文体・レトリック辞典』では、「永い間の生活の知恵が凝縮されており、それぞれの社会における文化的背景を反映する」と説明している²⁾。

このように、ことわざ（諺）は「古くから人々に言いならわされたことば。」であり、自身やその周りに今現在も使用されてこそ「ことわざ」であると解される。よって出典等、表に書き込んでもらった内容で文献からの引用を示さない場合も、その記入者の語彙のなかに生きている「ことわざ」として基本

1) 新村出編『広辞苑』（岩波書店、1998年）。

2) 中村明『日本語の文体・レトリック辞典』（東京堂出版、2007年）。

的にそのまま掲載している。

また、ことわざ（諺）は「それぞれの社会における文化的背景を反映する」ことから、そのことわざ（諺）が生まれた社会の文化を知る手がかりとなる。

本専修院生は20歳代が多いが、出身地は中国・台湾・ベトナム・韓国・日本にわたり、専門とする研究分野も歴史・地理・文学・思想・言語等と様々である。本表は、そうした世代を同じくしながらも、育ってきた文化的背景や言語、それぞれの学ぶ研究手法も異にした院生が挙げた「ことわざ」である。

挙げられた「ことわざ」のなかには、沖縄の「一杯のお茶（ていちざあ）や飲（ぬ）まんむん」（お茶は一杯だけでは飲まないもの。どんなに急ぎの時でも二杯以上飲むべきだ。ゆっくり落ちついてせよという意味の教訓。）、ベトナムの「Uông chén trà đã／茶を一杯のんでから。」（「まあ落ち着いて」「ゆっくりと」「あせらず」という意。）のように、異なる文化を背景としながらも通じる発想がみられる。これを日本では「朝茶に別れるな」、「朝茶は七里帰っても飲め」（朝一杯のお茶は心を落ち着け、焦ったり急いだために起こる事故から身を守る。）と表現し、沖縄やベトナムと同様のことを教えている。一方で、「Nước chè, thịt chó no say; Thường xuyên như thế có ngày ung thư (ca dao)／茶と犬肉を食べると酔う。いつも一緒に食べると癌になる。」のように、犬肉を食べる食習慣が今も生きているベトナムでこそ存在する「ことわざ」もある。

また、賄賂を渡す時に言う言葉に中国では「大哥、喝茶喝茶」があり、ベトナムでは「Tiền trà nước／飲茶代金」（Ý chi tiền hối lộ hoặc tiền cảm ơn (Em xin gửi chút tiền trà nước cho anh (chị), ...)／賄賂の金、もしくは謝礼金のこと。「あなたに少しの飲茶代をお渡しします。）」といい、ともに茶が用いられる。しかし韓国では、賄賂は「たばこ代」となる。

このように「ことわざ」によって、その地域の独自性、他の地域との共通点や相違点を知ることができる。

茶は東アジアに飲料、嗜好品として広まっていることはよく知られている。「ことわざ」のなかの茶は、そうした実態を反映しつつも「茶」をもって何を表現するかにより、関わりをもつ社会の文化を表現している。

（文責・大槻暢子）

東アジアの「茶」に関わる「ことわざ」

| 中国語 | 日本語訳 | 出典 | 地域・時代 |
|--------------|---|-----------------------------|------------|
| 茶坊酒店 | 中下等階層の娯楽場所 | 『画史』 | 中国・北宋 |
| 清茶淡話 | 親切に人を持って成すこと。 | 『西江月』 | 中国・金 |
| 柴米油盐醬酢茶 | 必須な生活用品を指す。 | 『元曲』 | 中国・元代 |
| 清茶淡飯 | 生活が貧しいこと。 | 『警世通言』 | 中国・明代 |
| 茶余酒後 | 暇な時のたとえ。 | 『二十年目睹之怪現狀』 | 中国・清代 |
| 茶飯無心 | 落ち着かず、憂鬱な様子。 | 『南口樓夢』 | 中国・清代 |
| 茶里不尋飯里尋 | あらさがし | 『姑妄言』 | 中国 |
| 茶不茶飯不飯 | 思い悩ます。 | 『金瓶梅詞話』 | 中国 |
| 茶為花博士, 酒是色媒人 | お茶とお酒は男女関係を結ぶことに働く。 | 『欢喜冤家』 | 中国 |
| 風流茶説合, 酒是色媒人 | お茶とお酒は縁談に役立つ。 | 『一片情』 | 中国 |
| 茶是茶飯是飯 | おもてなしは行き届いて、いい加減にしていけない。 | 『文中游』 | 中国 |
| 三茶六礼 | 正式な結婚儀式を指す。 | 『天中記』 | 中国 |
| 不茶不飯 | 気にかかることがあり、いらいらする。 | 『群音類選』 | 中国 |
| 茶不思, 飯不想 | 片思いなど、気にかかることがあり、いらいらする様子。 | 慣用語 | 中国 |
| 大哥, 喝茶喝茶 | 相手に賄賂(お金)を渡すときという言葉。 | 俚語 | 中国 |
| 以茶代酒 | お酒が飲めない場合、乾杯時の用語。 | 俗語 | 中国 |
| 茶叙 | おしゃべり、会談。 | 文章語 | 中国 |
| 茶話会 | 懇親会(新年会等) | 俗語 | 中国 |
| 權酒征茶 | 色々な名目で徴収する苛酷な税金 | 歴史用語 | 中国 |
| 挑茶幹刺 | いちやもんをつけること。 | 俗語 | 中国 |
| 一茶二飯 | 日常茶飯事 | 俗語 | 中国 |
| 三茶六飯 | 生活面の世話が行き届くこと。 | 俗語 | 中国 |
| 家常茶飯 | 日常の食事。平常のことのたとえ。 | 俗語 | 中国 |
| 浪酒開茶 | 風俗界で飲食すること。 | 俗語 | 中国 |
| 粗茶淡飯 | 粗末な飲食物、生活を質素にすること。 | 中日大辞典 | 中国 |
| 茶余飯后 | お茶や食後のゆつくりくつろぐひととき。 | 中日大辞典 | 中国 |
| 残茶剩飯 | 飲み残しの茶や食い残しの飯。 | 中日大辞典 | 中国 |
| 代茶・茶礼・茶金 | 結婚に際して男家が女家に茶を贈る慣習より結納金のこと。 | 矢沢利彦『東西お茶交流考——茶はなにをもたらしただか』 | 中国 |
| 下茶・受茶 | 男家が女家へ茶を贈ることを下茶、女家がこれを受け取ることを受茶。これで結婚契約成立を意味する。 | 矢沢利彦『東西お茶交流考——茶はなにをもたらしただか』 | 中国 |
| 開門茶 | 女家が興入れの翌朝に男家に茶を贈る習俗。 | 矢沢利彦『東西お茶交流考——茶はなにをもたらしただか』 | 中国・江蘇省六合地区 |
| 帶青 | 新婦が嫁する際に茶種をもっていくこと。 | 矢沢利彦『東西お茶交流考——茶はなにをもたらしただか』 | 中国 |
| 茶餅 | 結納品 | 矢沢利彦『東西お茶交流考——茶はなにをもたらしただか』 | 中国 |
| 元宝茶 | 茶のなかに鞞麗の葉を2枚浮かべたもの。春節をことほぐ茶。 | 矢沢利彦『東西お茶交流考——茶はなにをもたらしただか』 | 中国 |
| 七家茶 | 立夏の日に新茶を入れ、菓子をそえて近隣諸家に配ること。 | 矢沢利彦『東西お茶交流考——茶はなにをもたらしただか』 | 中国 |

| | | | |
|-----------------|--|-----------------------------|----|
| 茶飯無心 | 心配ごとなどがあって、それにすっかり気が取られ、飲み食いする気持ちが全然わかないこと。 | 矢沢利彦『東西お茶交流考——茶はなにをもたらしただか』 | 中国 |
| 閑茶閑酒 | ひまなときには茶を飲み、うさばらしには酒を飲む。 | 矢沢利彦『東西お茶交流考——茶はなにをもたらしただか』 | 中国 |
| 早茶晚酒 | 朝飲むには茶が最上、夜飲むには酒に限る。ほかに、午前中は茶館でねばり、夜は酒店で時をすごすこと意味する。 | 矢沢利彦『東西お茶交流考——茶はなにをもたらしただか』 | 中国 |
| 南茶北酒 | ひとを接待するには華南では茶で行い、華北では酒で行う。ほかに、酒は華北は優り、茶は華南が優るという意味もある。 | 矢沢利彦『東西お茶交流考——茶はなにをもたらしただか』 | 中国 |
| 燒茶喫水 | 茶を沸かし、水を飲む。平凡な日常生活を送ること。 | 矢沢利彦『東西お茶交流考——茶はなにをもたらしただか』 | 中国 |
| 敵水煮茗 | 冬季に水を割ってその下の水を汲み、これで沸かした茶を客に馳走するという意味からでた語。冬日に客を接待すること。 | 矢沢利彦『東西お茶交流考——茶はなにをもたらしただか』 | 中国 |
| 拏茶当酒 | 酒のかわりに茶を飲む。茶を酒の代わりにする。 | 矢沢利彦『東西お茶交流考——茶はなにをもたらしただか』 | 中国 |
| 清茶恭候 | 招待状に記す慣用句。 | 矢沢利彦『東西お茶交流考——茶はなにをもたらしただか』 | 中国 |
| 一茶一房 | 家屋を借り入れるときに、べつに一カ月分の家賃を（敷金）を家主に納めること。 | 矢沢利彦『東西お茶交流考——茶はなにをもたらしただか』 | 中国 |
| 茶錢 | 敷金 | 矢沢利彦『東西お茶交流考——茶はなにをもたらしただか』 | 中国 |
| 端茶送客 | 端茶はお茶を入れた茶碗を盆に載せて両手でささげて運ぶこと。送客はこの茶を運んでくれること。客を送り返すこと。 | 矢沢利彦『東西お茶交流考——茶はなにをもたらしただか』 | 中国 |
| 喝茶閑談 | 茶のみ話 | 矢沢利彦『東西お茶交流考——茶はなにをもたらしただか』 | 中国 |
| 釀茶濃酒 | 濃い茶と強い酒という意味。珍味佳肴に対する言葉。 | 矢沢利彦『東西お茶交流考——茶はなにをもたらしただか』 | 中国 |
| 茶來動手、飯來張口 | 自分は骨折らずになにごとも人にしてもらおうこと。飲食物に対して意地汚いことのとたとえ。無精なさま。 | 矢沢利彦『東西お茶交流考——茶はなにをもたらしただか』 | 中国 |
| 茶裡尋、飯裡找 | ひとの過ちをなんのかんのかのと言って咎めだてること。 | 矢沢利彦『東西お茶交流考——茶はなにをもたらしただか』 | 中国 |
| 好人家婦女不喫面家茶 | よい家庭の婦女は再嫁することがない。 | 矢沢利彦『東西お茶交流考——茶はなにをもたらしただか』 | 中国 |
| 喫茶 | 婚約 | 矢沢利彦『東西お茶交流考——茶はなにをもたらしただか』 | 中国 |
| 茶不是茶、飯不是飯 | 食物に対して好みをなにももてないこと。食生活の苦しいことを指す。 | 矢沢利彦『東西お茶交流考——茶はなにをもたらしただか』 | 中国 |
| 茶是後來釀 | 茶はあとの方が濃く出るという意味から、ものごとはあとになるほどいいことがあるという意味。 | 矢沢利彦『東西お茶交流考——茶はなにをもたらしただか』 | 中国 |
| 走人家多請煙茶 | ひとの家を訪ねて、煙草や茶のもてなしを受けたら、厚くお礼を言え。他人から与えられた恩恵に対しては、たとえどんなに小さいものであっても心から感謝せよ。 | 矢沢利彦『東西お茶交流考——茶はなにをもたらしただか』 | 中国 |
| 柴米油盐醬醋茶、這為開門七件事 | 薪・米・油・塩・醬・味・醋・茶はまず第一に必要な七品であること。 | 矢沢利彦『東西お茶交流考——茶はなにをもたらしただか』 | 中国 |
| 只在陽間喝碗茶、莫在陰間喫口湯 | あの世に行って湯（スープ）を飲むよりも、この世で茶を飲む方がいい。生きているうちに人生を楽しんだ方がいい。 | 矢沢利彦『東西お茶交流考——茶はなにをもたらしただか』 | 中国 |

| | | | |
|-----|------------|-----------------------------|----|
| 茶神 | 『茶経』の著者陸羽。 | 矢沢利彦『東西お茶交流考——茶はなにをもたらしただか』 | 中国 |
| 茶博士 | 茶館のボーイ | 矢沢利彦『東西お茶交流考——茶はなにをもたらしただか』 | 中国 |
| 茶仙人 | 茶柱 | 矢沢利彦『東西お茶交流考——茶はなにをもたらしただか』 | 中国 |

| | | | |
|----------------------|--------------------------------------|-------------|----|
| 台湾語 | 日本語訳 | 出典 | 地域 |
| 人來掃地, 客去煎茶 | 後のまつり | 台湾民俗語 | 台湾 |
| 二月清明挽茶慶三日, 三月清明挽茶清明日 | お茶を摘む時期。 | 〈台湾俗語彙典〉 卷八 | 台湾 |
| 真茶無色, 真人無敬 | 脳のある鷹は爪を隠す。 | 〈台湾俗語彙典〉 卷四 | 台湾 |
| 賣茶講茶芳, 賣花講花紅 | 自画自賛 | 台湾雅言巧語 | 台湾 |
| 穀雨前三日無茶挽, 穀雨後三日挽不及 | 穀雨後が茶農が一番忙しい時期。 | 農業兒童網 (台湾) | 台湾 |
| 茶古破孔・漏題 | ティーポットに穴がある (お茶を漏らすと「題目を漏らす」は発音が同じ)。 | 台湾諺語 | 台湾 |

| | | | |
|--|---|--|------|
| ベトナム語 | 意味/日本語訳 | 出典 | 地域 |
| Khách đến nhà chẳng trà thì rượu/客が家に来たら、茶でなきや酒。 | Ý nói đến khách của người Việt, khách đến nhà bao giờ cũng được mời cốc rượu hoặc chén trà/ベトナム人の客への厚いおもてなしの気持ちを表現し、客が来たら、酒か茶をもてなされる。 | Tuyển tập ca dao, tục ngữ Việt Nam/ベトナム民謡、俗語選集 | ベトナム |
| Khi rượu sớm, lúc trà trưa/酒は早朝、茶は昼に | Uống rượu vào buổi sớm, uống trà vào buổi trưa đều là trải lễ bình thường, ý chỉ lễ nghiên ngập/朝早くに酒を飲み、お昼時に茶を飲む、一般の道理にそむく。酒中毒、茶中毒という意味。 | Tuyển tập ca dao, tục ngữ Việt Nam | ベトナム |
| Trà tam rượu tứ/茶三、酒四 | Trà chỉ phải uống 3 người, mà rượu thì phải uống 4 người thì là vừa vặn và thích hợp nhất/茶は3人、酒は4人で座って飲むのが最も適切である。 | Tuyển tập ca dao, tục ngữ Việt Nam | ベトナム |
| Trà đình từ điếm/茶亭酒店 | Uống trà thì nên ngồi ở lâu, uống rượu thì ngồi ở điếm, là hợp lý nhất/茶をばらで飲み、酒は店で座って飲むのが最もふさわしい。 | Tuyển tập ca dao, tục ngữ Việt Nam | ベトナム |
| Trà dư tư hậu/茶余酒後 | Ý nói đến cuộc vui kéo dài sau khi uống trà, uống rượu xong/茶や酒を飲んだ後も楽しい余韻が残っているという意味。 | Tuyển tập ca dao, tục ngữ Việt Nam | ベトナム |
| Rượu ngâm nga, trà liên tay/酒は吟味、茶は直ぐに | Rượu uống thì phải từ từ, mà trà thì vừa pha xong phải uống ngay, là cách thưởng thức trà và rượu/酒はちびちびと飲み、茶は注ぎ終わったら直ぐに飲まないといけない。というのかが酒と茶の味わい方である。 | Tuyển tập ca dao, tục ngữ Việt Nam | ベトナム |
| Nước trà giải thuốc/茶は解薬 | Trong nước trà có nhiều chất làm phân giải tính của thuốc, khiến cho việc uống thuốc không có tác/茶の中には薬を分解する成分が入っている。薬を飲むときに茶を飲むと作用がなくなる。dùng gi nữa | Tuyển tập ca dao, tục ngữ Việt Nam | ベトナム |
| Rượu cô be, chè đầy ấm/酒は徳利の首、茶は急須の底 | Rượu thì ngon ở cổ be của bình, mà trà thì ngon ở đáy của ấm/酒はとっくりの首、茶は急須で美味しさが決まる | Tuyển tập ca dao, tục ngữ Việt Nam | ベトナム |
| Trà Thái, gái Tuyên/茶はタイ、女はトゥエン | Ngon nhất là trà Thái Nguyên, mà đẹp nhất là gái Tuyên Quang/一番美味しいお茶はタイグエン、一番美しい娘はトゥエンクアンの娘。 | Tuyển tập ca dao, tục ngữ Việt Nam | ベトナム |
| Chè hâm lại, gái ngủ trưa/茶を再度沸かし、娘が昼間寝る。 | Ý chỉ những thứ không tốt, không hay, là nước chè hâm lại và gái ngủ ngày/よくないことは、茶を沸かしなおすと、娘が日中寝ていること。 | Tuyển tập ca dao, tục ngữ Việt Nam | ベトナム |

| | | | |
|--|--|------------------------------------|------|
| Giàu đầu những kẻ ngủ trưa, sang đầu đến kẻ say sưa rượu chè / 昼に寝るの者は金持ちになれず、酒、茶に溺れるのも金持ちになれない。 | Người ngủ trưa tức là không biết giành thời gian lao động, cũng như kẻ nghiện chè nghiện rượu, đầu là những kẻ không làm giàu được / 昼に寝る人は、働く時間をもつのをしらない人である。それは、茶や酒の中毒になっている人と同じく、金持ちになることができない。 | Tuyên tập ca dao, tục ngữ Việt Nam | ベトナム |
| Rượu chè cờ bạc tan hoang cửa nhà / 酒、茶、ばくち、家の荒廃。 | Người nghiện chè nghiện rượu thì dễ là kẻ phá gia sản / 茶や酒に溺れた者は、家の財産を破産しやすい。 | Tuyên tập ca dao, tục ngữ Việt Nam | ベトナム |
| Rượu chè be bét / 酒、茶に酔いつぶれる | Một cách nói tương hình chỉ kẻ nghiện ngập rượu chè / 酒や茶に溺れた人を表す。 | Tuyên tập ca dao, tục ngữ Việt Nam | ベトナム |
| Uống nước chè Tàu, ăn trâu coi thiếc / 中国茶を飲み、錫の容器に入った檳榔を食べる。 | Nước chè Tàu và trâu đưng trong hộp thiếc đều là những thứ ngon cả / 中国茶と錫の容器に入った檳榔の実はどちらも美味しい。 | Tuyên tập ca dao, tục ngữ Việt Nam | ベトナム |
| Có chè có rượu, không thiếu anh em / 茶と酒があれば、友に欠かない。 | Con trai, đàn ông kết bạn và thân tình chính từ những cuộc uống rượu hoặc uống trà, còn chè còn rượu để mời khách thì còn có người đến chơi / 男性が友情を結ぶには、酒を飲むもしくは茶を飲むことから始まり、茶と酒で、客をもてなせば、家に遊びにくる人がいる。 | Tuyên tập ca dao, tục ngữ Việt Nam | ベトナム |
| Nước chè, thịt chó no say, Thường xuyên như thế có ngày ung thư (ca dao) / 茶と犬肉を食べると酔う。いつも一緒に食べると癌になる。 | Nước chè và thịt chó là hai thứ tối kỵ, không được ăn uống cùng lúc với nhau / 茶と犬肉は、食い合わせが悪い。一緒に飲食してはいけない。 | Tuyên tập ca dao, tục ngữ Việt Nam | ベトナム |
| Chè / チェー | Còn có nghĩa đen khác, là chè ăn. Chè ăn ở Việt Nam có rất nhiều loại, ngọt, nấu từ các loại đậu, đỗ, hạt / 茶 (チェー) は茶の意味以外に、ベトナムでは、食べ「チェー (茶)」がたくさんある。甘いもの、各種の豆や蓮の実と一緒に煮るものなどがある。食べるチェーにも多くの俗語があり、例えば、「おこわでおなかが一杯でチェーにもあきた。」「泣きわめきチェーが腐る。」「犬にチェーを食べさせろ」など。sen.v.v. Riêng với chè ăn thì cũng có nhiều câu tục ngữ liên quan như “no xôi chán chè”, “khôc nhè chè thiêu”, “cho chó ăn chè”.... | Tuyên tập ca dao, tục ngữ Việt Nam | ベトナム |
| Uống chén trà đá / 茶を一杯のんでから。 | Bình tĩnh đá, từ từ đá, đừng nóng vội (trong tình huống phải mời chén trà uống thật sự) / 「まあ落ち着いて」「ゆっくりと」「あせらず」という意。(本当に茶を差し出す) | Tuyên tập ca dao, tục ngữ Việt Nam | ベトナム |
| Tiền trà nước / 飲茶代金 | Ý chỉ tiền hối lộ hoặc tiền cảm ơn (Em xin gửi chút tiền trà nước cho anh (chị)...) / 賄賂の金、もしくは謝礼金のこと。「あなたに少しの飲茶代をお渡しします。」 | Tuyên tập ca dao, tục ngữ Việt Nam | ベトナム |

| | | | |
|-------------------------|--|----------------|----|
| 韓国語 | 日本語訳 | 出典 | 地域 |
| 다담상 (茶啖床) 갈다. | (お客様のもてなしのために) お膳を整えた台盤のように) ご馳走がたっぷり並べているようす。 | 음식속담사전 (飲食諺辞典) | 韓国 |
| 다담상 (茶啖床) 마라다가 턱 떨어지겠다. | おいしいものを食べようとして待っているうちに飢え死にしそうになること。 | 음식속담사전 (飲食諺辞典) | 韓国 |

| | | | |
|---------------------------|--|--------------------|----|
| 琉球語 | 日本語訳 | 出典 | 地域 |
| 茶盆は持たれるが分は他人が持たせる | 茶盆はいつでも誰でも持つことができるが、身分や品格は他人が評価するものである。 | 沖繩ことわざ事典 | 沖繩 |
| 一杯のお茶 (ていちざあ) や飲 (ぬ) まんむん | お茶は一杯だけでは飲まないもの。どんなに急ぎの時でも二杯以上飲むべきだ。ゆっくり落ちついてせよという意味の教訓。 | 沖繩ことわざ事典・諺に見る沖繩の心 | 沖繩 |
| 茶飲み友達 (ちゃぬむあぐ (ともがら)) | お茶をすすりながら語りあう仲よし同志。 | 沖繩宮古ことわざ全集付録やさしい方言 | 沖繩 |

| 日本語 | 意味 | 出典 | 地域 |
|------------------|--|-----------------|----|
| 茶の子 | 彼岸に供える供養の菓子 | 大阪ことわざ事典 | 大阪 |
| 茶にする | 話をまぜかえず／ひと休みする。まじめな応対をしない。ちゃかす。ばかにする。人を利用してあとでは打ち棄ておく。 | 大阪ことわざ事典／広辞苑第六版 | 日本 |
| 茶茶入れる | 邪魔をする。水を差す。 | 大阪ことわざ事典 | 大阪 |
| 茶碗を投げば船でかかえよ | 相手が強く出た時は、やんわりと受けとめるとよいこと。 | 故事ことわざ辞典 | 日本 |
| 茶湯子は目に入れても痛くない | 年とってからできた子はかわいくてたまらない。 | 故事ことわざ辞典 | 岡山 |
| 御茶を濁す | いいかげんにその場をごまかす。 | 広辞苑第六版 | 日本 |
| 御茶を挽く | 遊女や芸妓が客がなくなひくまで遊んでいる。ひまな時には、茶葉を臼にかけて粉にする仕事をしたからいう。 | 広辞苑第六版 | 日本 |
| 茶臼芸 | ①一芸にすぐれていること②(後に誤って)中途半端で一芸として通らないもの。表芸にならないもの。 | 広辞苑第六版 | 日本 |
| 茶粥腹 | ①茶粥をすすって間に合わせた腹②(朝食などに茶粥を多く用いるからいう)畿内の人をあざげけという語。 | 広辞苑第六版 | 日本 |
| 茶茶ほうちゃ | ①無分別なさま。無茶。無茶苦茶。②だいなしにすること。さんざん。 | 広辞苑第六版 | 日本 |
| 御茶の子 | ①茶の子。お茶菓子。また、間食としてとる軽い食事。②(腹にたまらないところから)たやすくできること。御茶の子さいさい。「(さいさい)」は俗話のはやし言葉 | 広辞苑第六版 | 日本 |
| 茶話 | 茶飲み話。さわ。 | 広辞苑第六版 | 日本 |
| 茶腹も一時 | 茶だけでも飲めば一時は空腹をしのぐことができる。わずかばかりのものでも一時しのぎになる。 | 広辞苑第六版 | 日本 |
| 茶を立てる | ①飲む茶を作法とおりにつくる。②仏事をおこなう。 | 広辞苑第六版 | 日本 |
| 茶目 | 子どもっぽい、滑稽じみたいたずらをすること。また、その人。 | 広辞苑第六版 | 日本 |
| 茶目つけ | 茶目な気質。 | 広辞苑第六版 | 日本 |
| 茶賈い | 後妻または継母。 | 広辞苑第六版 | 東北 |
| 朝飯前の茶漬 | たやすい仕事。朝食前のひと働きの意。 | 早引きことわざ辞典 | 日本 |
| 鬼も十八番茶も出花 | 器量のよくない娘でも、年頃になれば女らしい魅力が出てくる、ということ | 早引きことわざ辞典 | 日本 |
| 京のお茶漬 | 京都の人の口先だけの愛想のよさを皮肉った言葉(京都の人は客が帰ろうとすると、口先だけのお愛想で「ぶぶ漬けでもどうぞすえ」と勧めの意) | 早引きことわざ辞典 | 日本 |
| 臍が(で)茶を沸かす | あまりに滑稽で、笑わずにはいられないこと。相手の言動がひどく馬鹿馬鹿しいこと | 早引きことわざ辞典 | 日本 |
| 割った茶碗を接いでみる | もはやどうにもならぬ、と知りつつ諦めきれない様子。未練がましいこと。 | 早引きことわざ辞典 | 日本 |
| 朝茶に別れるな | その日の災難避けに、朝茶は必ず飲め、ということ。 | たべものことわざ辞典 | 日本 |
| 朝茶は七里帰っても飲め | 上記の類語。朝のお茶は、その日の災難を避けると言われるところから、飲み忘れてでかけたなら、どんなに遠くまで行こうが、戻って飲め、ということ | たべものことわざ辞典 | 日本 |
| 一女(いっじょ)両家の茶を喫せず | 貞節な女性は、一度嫁いだらどんなことがあっても再婚しないものである、ということ | たべものことわざ辞典 | 日本 |
| 鱈鮓で茶を食う | 贅沢に飽きて、わざわざ変わったことをすることをのたたとえ。江戸時代の浮世草子『傾世色三味線』に「変わった事をしやれたという悦ぶ人心なれば、蕎麦切を酢で鱈鮓を茶でくふなど、あちにやるばかりにして」とあるところから。 | たべものことわざ辞典 | 日本 |
| 濃い茶目の毒気の葉 | 濃いお茶を飲むと神経が興奮するので、睡眠の妨げになるが、反対に意識をはっきりさせる効用もあるということ。 | たべものことわざ辞典 | 日本 |
| 酒は酒屋に茶は茶屋に | 何事にもその道の専門家が、というたとえ。専門家に任せれば間違いない、ということ。 | たべものことわざ辞典 | 日本 |

| | | | |
|-------------------|--|--------------|---------|
| 砂糖買いに茶を頼むな | 一緒にしてよいものと悪いものがあることのとえ。砂糖の湿気が茶に移るの で、一緒にしないほうがよいことから。 | たべものことわざ辞典 | 福島県相馬地方 |
| 濁酒も茶よりは勝る | ないよりまし、というたとえ。「濁酒」とは「どぶろく」のこと。清酒には劣る が、安酒のどぶろくでも酔うことはできるから、酔わない茶よりはましである、 という意。 | たべものことわざ辞典 | 日本 |
| 七つ下がりへのへんなし茶 | 「七つ下がり」は暮れの七つで、今の午後四時を過ぎた頃。「へんなし」は無駄 という意味で、四時にお茶を飲んで休憩するのは無駄だということ。 | たべものことわざ辞典 | 新潟 |
| 猫も茶を飲む | 猫でさえ、お茶を飲んで休憩する意。農家で、午後の三時に決まってお茶を飲 んで休憩することをいう。また、生意気に分不相応なことをするのとたとえ にも言う。 | たべものことわざ辞典 | 山口 |
| 良い茶の飲み置き | 良い茶というのは、飲んだ後も味が口の中に残る、ということ。 | たべものことわざ辞典 | 日本 |
| 宵越しのお茶は飲むな | 一晩経ったお茶は体に良くないので、飲んではいけない。 | たべものことわざ辞典 | 日本 |
| 茶殻も肥えになる | 世の中に役に立たないものはない。お茶の出し殻でさえ肥料になることから。 | たべものことわざ辞典 | 日本 |
| 茶受けに茶そっばい | 「そっ(まい)」とは塩梅の意。お茶が美味しいかどうかは、お茶受けの葉子で決ま る、ということ。 | たべものことわざ辞典 | 佐渡 |
| 茶漬けに香の物 | お茶漬けに漬物(香の物)があればそれでよい。かんたんな食事のこと。 | たべものことわざ辞典 | 日本 |
| 茶漬けに鯉(ひしこ)の望み | 「鯉」とはイワシのこと。茶漬けに鯉があればそれでよい。ささやかな望みのた とえ。 | たべものことわざ辞典 | 日本 |
| 茶と百姓は絞るほど出る | 茶が絞るたびに出るように、百姓も責め立てればいくらでも年貢を出す。 | 故事俗信ことわざ大辞典 | 日本 |
| 茶に浮かされた癩癩持ち | 癩癩持ちが茶にのぼせて眠ることができず、いらいらと寝返りを打つさまから、 裏切つては再度寝返りを打つ、頻繁に他へ心移すことをいうしやれ。 | 故事俗信ことわざ大辞典 | 日本 |
| 茶に浮かされる | 茶を飲みすぎで、興奮して夜眠れなくなる。 | 故事俗信ことわざ大辞典 | 日本 |
| 茶に受ける | 冗談半分に聞く。冗談事として応対する。 | 故事俗信ことわざ大辞典 | 日本 |
| 茶に酔ったふり | 酒も飲んではいないのに、酔ったふりをして他人の追及をそらす、素知らぬふ りをする。 | 故事俗信ことわざ大辞典 | 日本 |
| 茶の木の下の顔をぶりをして通るよう | 煎茶の味の薄いこと。また、何度もついで香りのなくなった茶にもいう。 | 故事俗信ことわざ大辞典 | 仙台 |
| 茶の子を煎ると心がわかる | 煎り加減でその人の気性がわかる、ということ。 | 故事俗信ことわざ大辞典 | 日本 |
| 茶の花香(はなが)より気の花香 | 「花香」は煎じたてのかがわしい香りのお茶、または奥ゆかしい心ばえの意。客 のもてなしは、香り高いお茶を出すよりも、心から相手を歓迎することのほうが が大切である。 | 故事俗信ことわざ大辞典 | 日本 |
| 茶の湯は貧の真似 | 茶道はわびを主として、派手なことを嫌い、まるで貧乏の真似事をしているの と同じようだ。 | 故事俗信ことわざ大辞典 | 日本 |
| 茶は是、眼りを釣る釣り針 | 茶をお茶を上手にたてては、眠気を払うのに最も良い方法である。 | 故事俗信ことわざ大辞典 | 日本 |
| 茶は水が詮 | 良いお茶を上手にたてては、良い水を選ぶことが肝心である。 | 故事俗信ことわざ大辞典 | 日本 |
| 茶は屋根葺きほど飲む | 屋根葺きの職人が茶をがぶがぶ飲むように、茶ばかり飲んでいささまのこと。 | 故事俗信ことわざ大辞典 | 日本 |
| 茶を言う | いい加減なことを言う。でたらめを言う。 | 故事俗信ことわざ大辞典 | 日本 |
| 茶人文旨 | 茶人は気取っているので学問があるように見えるが、その実無学の徒が多い。 | 故事俗信ことわざ大辞典 | 日本 |
| 茶番 | 下手な芝居、ということとで底の見えすく物事のたとえ。 | ことわざ辞典(梧桐書院) | 日本 |
| 茶坊主 | 江戸時代の武家の職名だが、剃髪している為こう言う。茶の給仕をしたりする 役で、自然と権力者に目をかけられる機会が多いことから、権力者におもねる 者をのしるの意味も持つ。 | ことわざ辞典(梧桐書院) | 日本 |
| 茶飯事 | 普通の事。なんでもないこと。「日常茶飯事」 | 広辞林 | 日本 |
| 茶茶くる | ①ごまかす。②男女がひそかに情を通じる。 | 広辞林 | 日本 |
| 茶茶と | ①てばやく。②しつかり。じゅうぶんに。 | 広辞林 | 日本 |

| | | | |
|-------|---|---------|----|
| 茶断ち | 茶を禁じて飲まないこと。神仏に祈願するとき、その誓いとして行う。 | 広辞林 | 日本 |
| 茶飲み友達 | ①何かというと一緒にになって、遠慮なく話し合う親友。②年をとってから結婚した夫婦。[広義では、老後の夫婦をも指す] | 新明解国語辞典 | 日本 |
| 茶柱が立つ | お茶を茶わんについだとき、その中にたてに浮く茶のくき。よいことがある前兆という。 | 講談社国語辞典 | 日本 |
| 茶瓶 | ①茶を煮出す土瓶・やかん。②《「茶瓶頭」の略》はげ頭。やかん頭。 | 講談社国語辞典 | 日本 |
| 茶代 | 茶店に休んだとき、茶の代として支払う代金。②旅館・飲食店などで、普通の代金以外に与える心づけ。チップ。 | 岩波国語辞典 | 日本 |
| 茶利 | こっけいな文句または動作。また、淨瑠璃で、こっけいな語り物。 | 岩波国語辞典 | 日本 |
| 茶化す | 人の話をまじめに受けとらず、冗談のようにしてしてしまう。ひやかす。 | 明鏡国語辞典 | 日本 |
| 茶気 | ①茶道上の心得。②さっぱりして浮き世離れしている気性。③ふざけ気分。茶目気。 | 漢和辞典 | 日本 |
| 茶湯 | ①(チャトウ) 仏前・靈前に供える煎茶。②(チャのゆ) 茶をたててて客をもてなす会。 | 漢辞海 | 日本 |

【東アジアの茶に関わる「ことわざ」記入者】

水野善寛・于臣・鄒双双・唐哲俊・陳映竹・陳其松・NGUYEN Thi Ha Thanh・朴奈映・宮嶋純子・大槻暢子・三宅美穂・熊野弘子・伊藤瞳

【主な参考文献】

- 矢沢利彦『東西お茶交流考』（東方書店、1989年）
- 余全雄編『台湾民俗諺語』（西北出版社、2002年）
- 陳主顯『灣俗諺語典』前衛出版社（巻1 台湾俗諺的人生哲理 1997年、巻2 台湾俗諺的七情六慾 1997年、巻3 台湾俗諺的語言行動 1998年、巻4 台湾俗諺的生活工作 1999年、巻5 台湾俗諺的婚姻家庭 2000年、巻6 台湾俗諺的社會百態 2001年）
- 莊永明『臺灣雅言巧語』（時報文化出版企業、1990年）
- 吳瀛濤『臺灣諺語』（臺灣英文出版社、1975年）
- 宋在璇 엮음『음식속담사전』（東文選、1998年）
- 仲井真元楷著『沖縄ことわざ事典』（月刊沖縄社、1982年）
- 島袋善光編『諺に見る沖縄の心』（島袋善光、1983年）
- 吉村玄得『沖縄宮古ことわざ全集：付録：やさしい方言』（吉村玄得、1974年）
- 牧村史陽編『大阪ことば事典』（講談社、2004年）
- 槌田満文監修『故事ことわざ辞典』（成美堂出版、2000年）
- 鈴木棠三、広田栄太郎編『故事ことわざ辞典正・続』（東京堂、1956.11-1958.11）
- 故事・ことわざ研究会編『早引きことわざ辞典：大きな文字で読みやすい!』（ナツメ社、2005年）
- 西谷裕子編『たべものことわざ辞典』（東京堂出版、2005年）
- 尚学図書編集『故事・俗信ことわざ大辞典』（小学館、1982年）
- 田島諸介『新編 ことわざ 故事・成語・慣用句辞典』（梧桐書院、1979年）